

学生の皆さんへ

大学生活における感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、学生は「誰が感染しているかわからない」、「どこにウイルスが付着しているかはわからない」、ことを念頭に個々人が感染リスクを低減するための行動をしてください。

基本的な考え方は、
1) 不特定他者からの感染を避け
2) 他者に感染を広げないこと であり、

この二点を守った上で、いわゆる3密を避ける、すなわち、
密集を避ける

密閉空間を避ける（ライブハウス、スポーツジム 等）

密接な場面、対面、間近での発声や食事、を避ける

ことに留意する必要があります。

これは、3つの密の条件が重なる場面・機会を避ければよいということではありません。1つの密でも感染のリスクはあり、3つの密が揃うと、リスクが高まるということを意味します。

5月4日に国の専門家会議の示した「新しい生活様式」の実践例に基づき大学生活における感染症対策をお知らせしますので、各事項をしっかりと確認し適切な行動をしてください。

【感染症対策】

1 健康観察シートの記載

- (1) 毎日、体温測定および体調把握を行い、健康観察シートに記入してください。
- (2) 健康観察シートに当てはまる項目が一つでもあれば登校を控え、本館事務局学務部まで電話で連絡してください。電話番号：026-283-6111
- (3) 登校後に体調不良となった場合は以下の対応とします。
 - ①学生は、身近な教職員に体調不良を伝えてください。
 - ②学生は、直ちに人混みを避けて帰宅することを原則とします。
 - ③翌日には帰宅後からの状況を保健科学部は担任、看護学部はアドバイザーである各教員のメールアドレスに送信し今後の登校について相談してください。メールには署名の記載を忘れないでください。

2 大学の通常の生活における学生への感染症予防対策について

- (1) 手洗いの励行：
 - ①流水と石鹸によりこまめにかつ丁寧に手洗いをします。

- ②手は自分のハンカチで拭きましょう。他人との共用をしないこと。
- (2) 咳エチケットの順守
 - ①咳やくしゃみは、ティッシュやハンカチで口と鼻を覆いましょう。
 - ②ティッシュやハンカチがない時は、衣類の袖で口と鼻を覆いましょう。
 - ③手に咳やくしゃみが付いた時にはすぐに手を洗いましょう。
- (3) 通学における注意
 - ①公共交通機関(電車、バス)は、すいている時間帯に利用できる工夫をしてください。
 - ②利用する際は、できるだけ他者との距離を取り対面しないよう注意しましょう。
 - ③手すりやつり革等多くの人が触れる物の使用を極力避けるとともに、触れた手で顔(目、鼻、口)を触らないように、習慣づけましょう。
 - ④登校時帰宅時共に他者との接触を極力少なくしましょう。
- (4) マスクの着用
 - ①できるだけマスクを着用し、着用したマスクは毎日交換しましょう。
 - ②布マスクは毎日洗います。
 - ③マスクの外側(鼻、口に接しない側)が不潔です。マスクを取り外す時は、マスクの外側に触れないようにしましょう
- (5) 近距離での大声でのおしゃべり、内緒話、ひそひそ話はやめましょう。話をするときには、1～2mの間をあけましょう。
- 3 授業では、教員の指示に従って感染症予防に適した行動をとりましょう。**
- 4 昼食時には以下のことを注意してください。**
 - (1) 四徳ホールの利用時間は、11:00～14:00とします。
 - (2) 飲食時の会話は最小限とし、携帯電話の利用及び食べ物の共有は禁止します。
 - (3) 四徳ホール、学生ホール、廊下での歯磨きは禁止します。歯磨きはトイレのみで行ってください。
 - (4) 四徳ホール、学生ホールの人の密集を緩和するため、椅子を一定数減らしているため、学生は一定の距離を保って着席してください。
 - (5) 四徳ホールの利用者が一定数を越えた時は利用を終了とします。当面の間、四徳ホールの利用は学生及び教職員に限ります。
- 5 上記以外の注意事項**
 - (1) 粘膜がウイルスの侵入ルートのため、無意識に清潔でない手で顔を触ることがないように注意してください。(2の(3)③と関連)
 - (2) 携帯電話、タブレットの表面はウイルスが付着しやすいと言われていきますので、貸し借りや共有を避けてください。食事をしながら、携帯電話やタブレットを触ることのないよう注意してください。
 - (3) 大学での滞在時間は必要最小限とします。
 - (4) 図書館の利用方法については別途通知します。

(参考：専門家会議の示す新しい生活様式実践例)

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定